

小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念フォトコンテスト 開催結果

1. 開催概要

【目的】

小笠原諸島は維管束植物や陸産貝類の高い固有種率や適応放散に代表される現在進行中の種分化が見られること等が高く評価され、2011 年 6 月に我が国 4 番目の世界自然遺産に登録された。そして、2021 年は世界自然遺産登録から 10 年となる節目の年であり、多くの魅力を有する小笠原諸島を次の 10 年、さらにその先へつなげていくため、この度、遺産登録 10 周年事業として「小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念フォトコンテスト」を開催し、世界自然遺産の価値認識を高め、後世に引き継いでいくことを目的とした。

【開催日時】令和 3 年 8 月 18 日（水）～9 月 15 日（水）

【募集テーマ】①小笠原の自然風景／②小笠原の生きもの／③小笠原の日常風景

【募集方法】Web 上の応募フォームによる

【選考基準】後世まで伝えたい小笠原の魅力を描写していること、写真を見た人が行ってみたいくなるような小笠原の魅力を描写していること

【選考方法】①事務局による入選候補の選定、②一般投票及び事務局による最終審査

【表彰内容】グランプリ 1 作品、優秀賞 3 作品、入選 36 作品

※優秀賞以上の作品には、賞状と副賞を贈呈予定

【主催】小笠原諸島世界自然遺産地域登録 10 周年記念フォトコンテスト 事務局
(環境省関東地方環境事務所、林野庁関東森林管理局、東京都、小笠原村)

2. 結果概要

【応募状況】

◆応募者数…138名

◆応募作品数…874点 ※1人あたりの応募点数は無制限

◆応募属性等

- ・応募者アンケートの結果概要は下記のとおりである。
- ・6月末に開催した10周年記念式典（主催：管理機関）の参加申込者の属性と比較すると、若年層、島内居住者、居住経験者の割合が高くなっている。

年齢 30代が最も多く約3割を占めた。

半数以上が30代以下と、比較的若い層からの申し込みが多かった。

※式典申込者は、約6割が40代以上であった。

居住地 島内が約3割、島内を除く関東地方が約6割、その他地域が約1割であった。北は福島、南は鹿児島まで、全国各地より申し込みがあった。

※式典申込者は、約8割が島外居住者であった。

居住・来訪経験 居住経験者が約3.5割、来訪経験者のある人が約6割で、比較的幅広い年齢層から申し込みがあった。

※式典申込者のうち、居住経験者は約2.5割であった。

応募動機 9割以上が「小笠原が好きだから」と回答した。次いで「写真・カメラが好きだから」との回答も半数を超えた。その他の具体例として「小笠原の魅力を伝えたいと思ったから」、「また行きたい場所だから」との回答が複数見られた。

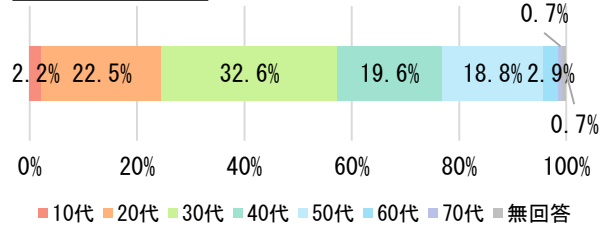
【一般投票状況】

◆投票数…879票

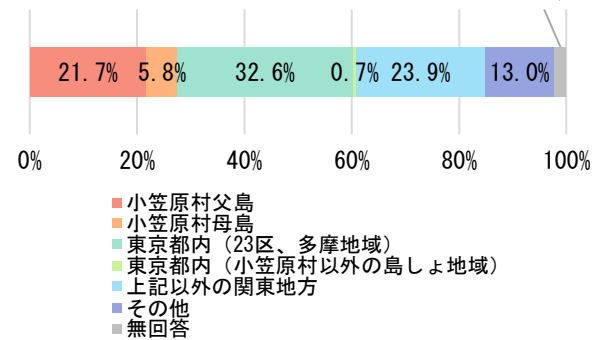
（新宿 623票、父島 130票、母島 126票）

- ・新宿御苑（10/5～10/24）、小笠原世界遺産センター（10/25～11/5）、沖港船客待合所（10/5～10/19）にて、一般投票を行った。
- ・一般投票の結果は、最終審査の参考とした。

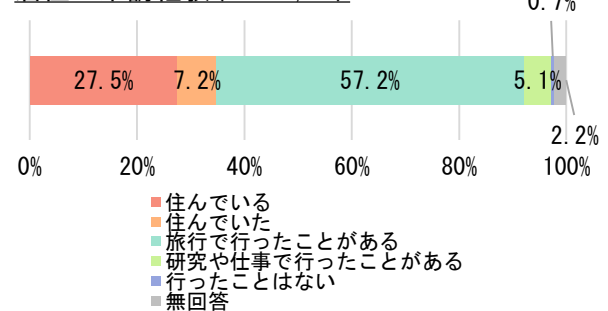
年齢 (n=138, SA)



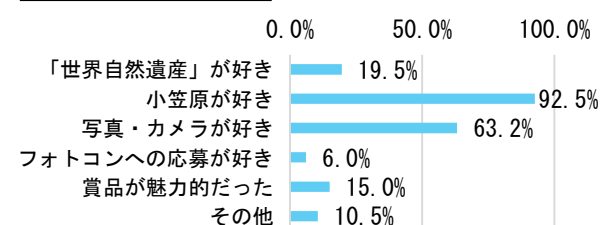
居住地 (n=138, SA)



居住・来訪経験 (n=138, SA)



応募動機 (n=133, MA)



【審査結果】

- ・一次選定として、事務局にて入選作品 40 点を選定した。
- ・その後、一般投票及び事務局による最終審査を経て、グランプリ 1 作品、優秀賞 3 作品、特別賞 3 作品を選定した。
- ・なお、グランプリは 3 テーマ全体で最も評価の高かったもの、優秀賞は各テーマから 1 作品ずつ選定した。
- ・特別賞は当初設定していなかったが、優秀賞にも匹敵する高い評価を得たことから、優秀賞の次点として各テーマから 1 作品ずつ選定した。

◆グランプリ



『いざ！母島へ』（高橋小太郎 撮影）

撮影地：ははじま丸船上

◆優秀賞

テーマ1：小笠原の自然風景



『Mirror Reflection』(Matsuno Simona 撮影)
撮影地：母島・蓬莱根

テーマ2：小笠原の生きもの



『synchronicity』(小林修一 撮影)
撮影地：父島沖

テーマ3：小笠原の日常風景



『いってらっしゃい!』(宮城雅司 撮影)
撮影地：母島・沖港

◆特別賞

テーマ1：小笠原の自然風景



『ハートロックと子クジラ』(小川竜太 撮影)
撮影地：父島沖

テーマ2：小笠原の生きもの



『羽ばたき』(木戸寛之 撮影)
撮影地：母島・南崎

テーマ3：小笠原の日常風景



『ある日の屋下がり』(望月啓市 撮影)
撮影地：父島・宮之浜